

授業改善のポイント 第5学年

複数の資料を関連付けて読み取る力を付ける

資料から必要な情報を取り出し、関連付ける

まず、問題文をよく読んで、設定をとらえさせます。次に、【話し合いの様子】で、賛成や反対の根拠になっているのはどの資料か、キーワードになる言葉を取り出し、考えを整理させていくことが大切です。

問題場面の設定をとらえる。

太陽小学校の問題
廊下歩行が悪く、けが人が増えている。
気付いた人が注意しているがよくなるしない。
生活安全委員会が提示したスローガン
『みんなの力で めざせ 事故ゼロ』



問題解決に向けた取組を始める前に、
①事故が起こりそうな場所
②問題が起こる状況
③廊下歩行がよくなる理由
3つのアンケート調査を行ったんだね。話し合いの中でどのように資料が使われているか確認してみよう。

石田さん
小島さん
司会者
佐藤さん

- 【A案のよさ】
○ 全校のみんなに危険な場所を知らせることができる。
【B案のよさ】
○ 問題が起こりやすい休み時間に呼びかけができる。

私もB案に賛成です。アンケート結果「(ア)」からも、問題が起こりやすい休み時間に注意をよびかけるのは大切だと思うからです。それに、多くの人が自分から活動すること、スローガンにもつながります。カーコーンを置くだけのC案はスローガンに合わないと思います。

ほくもC案について心配なところがあります。アンケート結果「(イ)」から、だれも見えていないと守れない人が六十人以上いることが分かります。直接注意を伝えることが大切だと思います。

A案についてはどうですか。

ほくは、A案に賛成です。アンケート結果「(ウ)」を生かして、ろう下や階段の、どの場所がぎげんのか全校のみんなに知らせることも大事だと思うからです。また、全校の前でよびかけることで、みんなですうという気持ちが高まるはずですよ。

A案、B案のよさが見えてきたね。

資料1 アンケート結果①

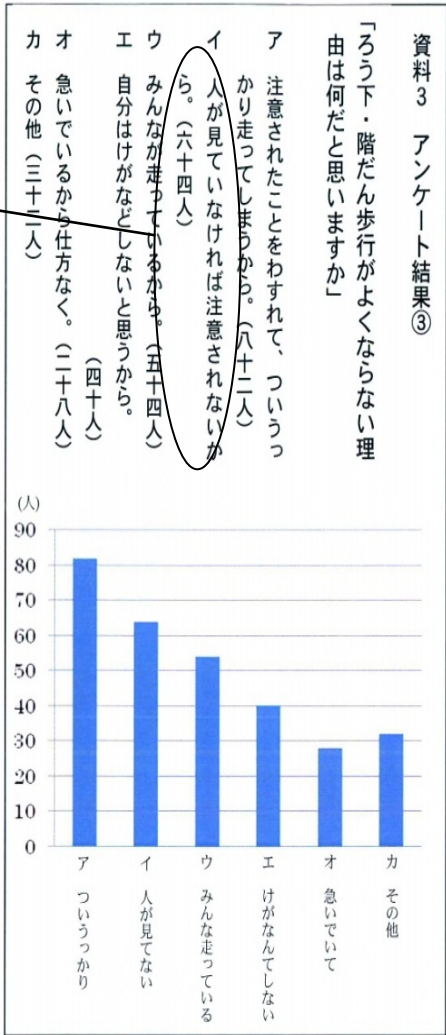
「ろう下や階段での事故が起こりそうな場所はどこですか」

場所	人数
体育館へつながる	130
ろう下の曲がり角	
ふつう教室前のろう下	85
中央階段	30
児童げんかん前のろう下	20
その他	35

資料2 アンケート結果②

「問題が起こるのはどんなときですか」

- 休み時間になり、体育館やグラウンドに早く行きたいとき。
- 次の授業が特別教室であることをわすれ、休み時間にぎりぎりまで遊んでしまい、授業におくれそうになったとき。
- 友達と休み時間に階段でどのくらいの高さからジャンプできるか勝負してしまったり、体育館でおにぎり(ごみ)を食べて、ろう下まで飛び出してしまったりするとき。



話し手の意図を正しくとらえる力を付ける

大切な文や言葉に線を引いたり、メモしたりする

【話し合い】の記録文を読むときは、自分の立場や考えをはっきりさせている文や言葉に注目させます。その際、大切な文や言葉に線を引くなど印をつけておくと、全文を読み終わった後、整理しやすくなります。

B案

山川さん

私は、B案に賛成です。委員が休み時間にろう下に立ち、走っている人を見つけたら「ストップ!」とよびかけます。よびかけられた人はゆっくり五つ数えてから歩きだします。そうすれば気持ちを落ち着けて行動できると思うからです。

佐藤さん

B案の問題点の指摘

ぼくは、B案に反対です。委員が毎日ろう下に立つと、委員の休み時間がなくなって大変だからです。

(中略)

山川さん

B案

論じ返しの話型

私は、やはりB案に賛成です。

たしかに、B案には、休み時間に委員だけで立つのは大変だという心配があります。でも、キャラクターを作ったり、「見守り隊」などの名前をつけたりして、委員だけでやるのではなく、希望者を集めながら全校のみんなと楽しめるように工夫すればいいと思います。

石田さん

B案

私もB案に賛成です。アンケート結果【(ア)】からも問題が起こりやすい休み時間に注意をよびかけるのは大切だと思うからです。それに、多くの人が自分から活動することで、スローガンにもつながります。カラーコーンを置くだけのC案はスローガンに合わないと思います。

(中略)

A案

佐藤さん

ぼくは、A案に賛成です。アンケート結果【(ウ)】を生かして、ろう下や階だんの、どの場所がきけんなのか全校のみんなに知らせることも大事だと思うからです。また、全校の前でよびかけることで、みんなで守ろうという気持ちが高まるはずです。

石田さん

A案の問題点の指摘

私はA案に反対です。放送や集会があったすぐ後は正しく歩行しようとするけれど、しばらくたてばまたわすれてしまうのではないのでしょうか。

佐藤さん

A案

論じ返しの話型

たしかに、A案には、問題点という心配があります。

しかし、ただ注意するだけでなく、解決策という解決策が考えられます。そうすると、自分が紹介されるかもしれないと期待して、正しいろう下歩行をするのではないのでしょうか。

小林さん

A案

なるほどA案もよいですね。それに、全校のみんなでもくしようという気持ちが高まったら、放送で紹介された人がみんなからみとめられます。それがどんどんふえていけば、おたがいをみとめ合えるようになるので、活動の輪が広がりますよね。

意見を述べる際は、まず自分の立場をはっきりさせます。次に理由を述べます。問題点を指摘されても、論じ返して自分の意見を述べたり、解決策を述べたりすることで、逆に説得力を増すことができます。



説得力のある文章を書く力を付ける

①資料から得た情報を整理し、自分の立場を決める

それぞれの案のよさや問題点を整理させておくと、自分の立場を決める際に、考えやすくなります。さらに、自分が賛成する案の問題点を敢えて客観的にとらえ、それに対する解決方法を考えておくことも、自分の意見に説得力をもたせることに役立ちます。

	A案 昼の放送や全校集会で廊下・階段歩行について呼びかける。	B案 休み時間に生活安全委員が廊下や階段に立ち、走っている人に注意する。
よさ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 廊下や階段の、どの場所が危険なのか全校のみんなに知らせることができる。 ○ 全校の前で呼びかけることで、みんなで守ろうという気持ちが高まる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 委員に「ストップ」と呼びかける。呼びかけられた人はゆっくり五つ数えてから歩き出せば、気持ちを落ち着けて行動できる。 ○ 問題が起こりやすい休み時間に注意を呼びかけることができ、多くの人が自分から活動することでスローガンにもつながる。
問題点	<ul style="list-style-type: none"> × 放送や集会があったすぐ後は正しく歩行しようとするけれど、しばらく経てばまた忘れてしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> × 委員が毎日廊下に立つと、委員の休み時間がなくなって大変だ。
問題点に対する解決策	ただ注意するだけでなく、正しい廊下歩行ができていない人を毎日放送で紹介して印象に残す。紹介された人がみんなから認められ、全校でよくしようという気持ちが高まればお互いを認め合えるようになり、活動の輪が広がる。	キャラクターを作ったり、「見守り隊」などの名前をつけたりして、委員だけでなく、希望者を集めながら全校のみんなと楽しめるように工夫する。

< B案の問題点 >

でも、生活委員会の委員だけが毎日廊下に立つと、委員の休み時間がなくなって大変だよね。

< B案のよさ >

ぼくも休み時間に走ってしまうことがあるな。アンケート結果から、人が見ていなければ注意されないからという理由があったよ。休み時間に直接注意を呼びかけることが大事だね。



< B案の問題点の解決策 >

そうだ、委員だけがやるのではなくて、希望者を集めて交代でやればいいんだよ。そうすれば、「みんなの力でめざせ事故ゼロ」というスローガンにもつながるよ。

よし、ぼくはB案で書こう！

②自分の立場を述べ、理由も示す

自分の意見を読み手に分かりやすく伝えるには、伝えたい内容に合わせて段落を作るなど、意図的に文章を構成していくことが大切です。

いくつかの型がありますが、今回は第1段落で自分の立場を述べ、その理由を示していく型が書きやすいでしょう。

文章を構成する際は、下にあるような「組み立て表」を活用するとよいでしょう。

「始め」「中」「終わり」の三部構成などにし、その中に伝えたい内容を入れていきます。

終わり (4段落)	中		始め (1段落)
	(3段落)	(2段落)	
このような理由から、A案(またはB案)にすると、学校になると思っています。 【「始め」と「中」を受けて立場や考えをまとめる。】	たしかに、A案(またはB案)には、この問題点があります。しかし、くだと思いません。 【論じ返して自分の意見を述べたり、解決策を述べたりする。】	理由は、だからです。 【自分の体験や予想を入れて書く。】	私は、A案(またはB案)のことに賛成です。 【立場を表明する。】

書くことを苦手にしている児童には、各段落の書き出しの型を示したり、各段落でどんな内容を書けばよいのかを示したりすると、抵抗感が和らぐでしょう。必要なつなぎ言葉がある場合は、説明文の学習と関連付け、自分の文章に生かすよう指導しましょう。

③自分の体験や予想、解決策を入れて説得力を増す

書くときだけでなく話し合うときにも役立つね。



自分が選んだ理由に、資料や文章から考えたよさだけでなく、自分の体験や予想を入れると、より伝わりやすくなります。

また、「たしかに～という問題点があります。しかし、～だと思えます。」などの論じ返しの話型を使って、支持する案の問題点と解決策を示すことで、より説得力のある意見に高めることができます。

問題点に対する解決策を述べています。

体験の文を加えています。

わたしは、A案の昼の放送や全校集会でろう下・階段ん歩行についてよびかけることに賛成です。理由は、全校がいつせいに守ろうと考えることが大切だと思いませんか。どんな場所でも、どんな場面でも事故が起きるのかわれば注意しようと思えます。また、まわりのわたしの経験では、だめだと分かっているという理由で走ってしまっていることもあり、その場での注意だけではふだんから直そうと思えないと思えます。

たしかに、A案にはしばらくたつとわすれてしまうという問題点があります。でも、放送の仕方や内容を工夫することで強く意識してもらえらるはずで、全校みんなでもよくしようという気持ちも高まると思えます。

このような理由から、A案にするのと、わすれそうな時、みんなで気持ち高め合い、全校の力でろう下・階段ん歩行をよくしようという取り組み学校になると思っています。

問題点に対する解決策を述べています。

予想の文を加えています。

わたしは、B案の休み時間に委員会がろう下や階段んに立ち、走っている人に注意することに賛成です。理由は、直せつ自分がよびかけられたら、「自分には関係ない」と考えず、正しいろう下歩行に直そうとする人が多いのではないかと、思うからです。実際にアンケートの結果③にも「人が見ていなければ注意されない」という回答があり、これはぎゃくに「実際に声かけをされれば効果がある」ということにつながると予想できます。

たしかに、B案には特定の委員ばかりが毎日ろう下に立つと休み時間がなくなるという問題点があります。交代で立てば解決できると思えます。また、注意する側になることで考え方も変わるのではないかと思います。

このような理由から、B案にするのと、スローガンのように、自分自身のこととして考え、みんなの力でろう下・階段ん歩行をよくしようとする学校になると思っています。

「終わり」の部分では、単に立場の表明を繰り返すだけでなく、スローガンと関連付けて記述するなど、「始め」と「中」の両方を受けたまとめを工夫する必要があります。